

1999 年度 大阪大学 後期理系 第 2 問

問題 n は 2 以上の自然数, c および q は正の実数とする。 xy 平面上に, 原点 O , 点 $P(1, 0)$ および点 $Q(0, q)$ を頂点にもつ三角形をとる。この三角形は, 曲線 $y = cx^n$ により 2 つの領域に分割されるが, これらのうち, 点 P を含む領域を A , 点 Q を含む領域を B とする。係数 c は A の面積と B の面積が等しくなるように定められているとする。次の問いに答えよ。

- (1) 領域 A を x 軸のまわりに一回転してえられる回転体の体積を $V(A)$ とし, 領域 B を y 軸のまわりに一回転してえられる回転体の体積を $V(B)$ とする。このとき, 各 n に対して $V(A) = V(B)$ が成り立つように q をただ一通りに定めることができることを示せ。
- (2) 各 n に対して (1) で定まる q の値を q_n で表すとき, 極限值 $\lim_{n \rightarrow \infty} q_n$ を求めよ。

N_osaka1999C_22.pbm